

おお大勝利

平成 22 年度山東サッカー部報第 29 号 (3 月 26 日)

サッカー部保護者の皆様、OBの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

震災を経て

3 月 11 日東北・関東地方を襲った大地震と津波による被害、そして原子力発電所の事故およびそれに伴う被害は、今なお爪痕を深く残しています。亡くなられた方々に対しまして深い哀悼の意を表します。また、避難生活を強いられ、いまだ「日常」を取り戻せない方々も数多くいらっしゃいます。この山形県にも、宮城・福島から避難してきた方々が大勢いらっしゃっております。震災によって被害に遭われた方々、なかでも親類・友人を亡くされた方々に、心よりお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

山形は地震には遭ったものの、津波による被害がないため、非常に軽度な被害で済みました。太平洋側の各県の激甚災害とは比べ物にならない程度です。ですが、東北・関東大震災などこのたびの震災が呼ばれているためか、多くの方々から激励を頂戴しました。特に感激したのが、山形東のユニフォームをマダガスカルに届けてくれた NGO の代表の方から頂いたメールです。掲載許可を得ていませんがそこにはこのような内容の文章がありました。

マダガスカルの桜(NGO)メンバーたちやフィファオナナ¹のサッカーチームから、山形東高校の人たちはどうなのですかと心配と問い合わせのメールが届きました。

遠くマダガスカルから私たちに心を寄せてくれている人たちがいる、ということに胸が熱くなりました。情けは人の為ならずとはよく言ったものですね。もちろん対価を期待してユニフォームを贈ったわけではないのですが、世の中お互い様であることを痛感しました。

また、いかに我々のこれまで営んできた生活が脆いものか、ということもこのたびの震災で痛感させられました。電気がない(停電している)と、今の我々の生活は何にも成り立たないのですね。もちろんそう言われれば、これまでもそのことに異を唱えなかったでしょうが、3 月 11 日から 12 日にかけての停電を経て、電気がない生活の不便さと電気に頼り切っている生活の不安定さを感じずにはいられませんでした。

地震後すぐ停電した時、私はエアコンだけでなく石油ヒーターを使用していたことを思い出し、暖房は大丈夫と勝手に安心したのですが、帰宅してみて啞然。そういえば石油ヒーターも電源を必要としていました。それなら、と電気を必要としない反射式ストーブのある実家に向かったのですが、実家では反射式ストーブを 2 年前に捨てたとのこと。実家にてスキウェアを着て、仏壇用に保有していた蠟燭を立てて、夜を過ごしました。集合住宅やアパートでは停電のため断水状態にもなったようですから、水もなかった方はさらに不便だったことでしょう(私は実家で過ごしたため水は大丈夫でしたが、私の住んでいるアパートも水が出ませんでした)。

もちろん、死者もほとんど出なかった山形の被害について、あまり大きく言わない方が

¹ 山形東のユニフォームが届けられた都市名。

よいでしょう。岩手・宮城・福島・茨城の方々の苦しみを思えば、一日停電した程度、何のことはありません。

さて、このたびの震災によってサッカー部の活動は一定期間中止、遠征はキャンセルとなりました。残念と言えば残念ですが、正直、サッカーをやれるだけでも幸せと思わなければいけないのでしょうか。サッカーをやらせてもらっていることへの感謝の気持ちに、改めて気付かされたこのたびの震災でした。そう言えばサッカー界が、4月のリーグ戦を中止しチャリティマッチを企画していち早く社会への感謝の気持ちを打ち出していることは、サッカーに携わる者として非常に勇気づけられることです。プロでさえこうなのですから、高校生はサッカーをやれることに対してさらに感謝の気持ちを持たなければならないでしょう。施設に対して、応援してくれる人に対して、そして何より親に対して。

岩手・宮城・福島・茨城といえば、山形東が練習試合をお願いし、鍛えてもらっている高校がたくさんあります。被災した青少年が、再び明るくピッチに立つ日を心から念願しております。

遠藤先生 2年間ありがとうございました

3月の人事の発表により、2年間サッカー部顧問をしてくださった遠藤先生が山東を去ることが明らかにされました。遠藤先生は剣道の専門家ながら、サッカー部顧問を引き受けてくださり、熱心な指導と熱心なプレーによって生徒を率いてくださいました。2年間でサッカーの「腕」もメキメキと上達し、正直伸び具合は生徒の比ではありませんでした。年齢が近い分、生徒にとっては兄貴分的存在で、信望がありました²。熱心なプレーにより、他校の顧問からもサッカー部の顧問として広く認知されておりました。これは、2年という短い期間とサッカー未経験者であることを考えると、驚くべきことです。

今野にとっても、片腕ならぬ片足をもがれる気持ちです。遠藤先生には、昼だけでなく夜も支えてもらいました（アパートまで送ってくださったことは数知れず）。感謝の気持ちを正確に表す言葉は見つかりません。遠藤先生、本当にありがとうございました。また山東サッカー部に遊びに来てください。

遠藤先生コメント

2年間本当にお世話になりました。サッカーはもともと大好きなスポーツだったのですが、ますますサッカーの魅力を感じることができました。県総体決勝のベンチに座ることが出来たことが、一番の思い出です。練習試合にてFWで出場させてもらい幾多のゴールを決めたことが、何よりの喜びでした。皆様、本当にありがとうございました。

² 離任式の日、卒業生全員が遠藤先生にお別れをしに集まりました。数えたわけではありませんが、全員集まっていたと思われま。遠藤先生がいかに部員から慕われていたかを示す光景でした。